

## 企業団の使命

## 「安全で良質な水道用水の安定的な供給」

## 課題

○今年度の取組み

## 企業団の中期的な目標

## 【持続】

50年後・100年後も持続可能な  
水道システムを構築する

## 【安全】

気候変動等に適切に対応し  
安全な水道用水を供給する

## 【強靭】

災害等に対して  
強靭な施設と組織を構築する

## 1 事業の推進・見直し

施設の適切な維持・更新	災害に強い施設と体制づくり	安定的な経営の持続	構成団体との連携強化	効果的な情報発信と筑後川流域等との交流
<ul style="list-style-type: none"> <li>○牛頸浄水場の維持管理の強化 →残塩濃度低下事象再発防止マニュアルの検証の継続</li> <li>○送水システムの機能強化 →追塩設備の設置等について検討</li> <li>○水道施設台帳の作成</li> <li>○送水施設の適切な維持管理と「管路整備計画」に基づく管路整備</li> <li>○牛頸浄水場の適切な維持管理と設備機器の円滑な更新</li> <li>○「水安全計画」に基づき徹底した水質管理と福岡地区の共同検査センターとしての役割遂行</li> <li>○海水淡水化施設の適切な維持管理と基本設計に基づく実施設計、工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務継続計画（BCP）のブラッシュアップ</li> <li>○非常時を想定した訓練の実施</li> <li>○福岡導水施設地震対策事業の円滑な実施に向けた水資源機構と緊密な協議・調整</li> <li>○「管路整備計画」に基づいた管路の耐震化</li> <li>○災害時に備えた牛頸浄水場の運転要員確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思決定の迅速化と効率的な組織運営による生産性の向上</li> <li>○「第13次財政収支計画」に基づいた計画的な財政運営</li> <li>○海水淡水化センターにおける膜使用年数の延長等、経費削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議等を通じた情報提供、情報収集による構成団体との相互理解の向上</li> <li>○水道用水の安定供給、水質の向上</li> <li>○維持管理時代に向けた用水供給の運用方法等についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑後川流域等と福岡都市圏の関わりについての情報発信の強化</li> <li>○福岡都市圏住民が筑後川流域等を訪れ、相互理解を深める機会の充実</li> <li>○令和5年度の50周年に向けて機運を盛り上げ、構成団体と連携した福岡都市圏住民への広報推進</li> </ul>

## 2 中長期的な観点からの検討

水道ビジョン・長期財政収支見通し2018	環境負荷低減対策の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「第14次財政収支計画」の策定</li> <li>○「長期財政収支見通し2018」の見直し</li> <li>○財政収支計画策定に向けた今後の施設整備計画等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の地球温暖化対策計画に対応した取組みの検討</li> <li>○更新に合わせた省エネ機器導入の継続</li> <li>○再生可能エネルギー導入に向け、総合的な経営判断のもと、脱炭素社会の実現に向けたチャレンジ</li> </ul>

## 3 人材育成・活性化及びコンプライアンスの推進

<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修のオンライン実施や研修受講の促進</li> <li>○課の課題について職員の共通理解を深め、一丸となって解決に取り組む職場風土づくり、職場の活性化</li> <li>○50周年事業の企画検討を通じた企業団の使命などの職員間の共有の推進</li> <li>○積極的なコミュニケーションによる風通しの良い組織づくりの推進、コンプライアンス意識の醸成</li> </ul>
---